TOKYO Night & Light

令和８年１０月９日
産　業　労　働　局
東京プロジェクション
マッピング実行委員会

都立総合芸術高等学校と連携した プロジェクションマッピング作品「君に届くまで」を 本日から公開

都庁舎プロジェクションマッピング「TOKYO Night & Light」は、都立の高等学校で唯一芸術に関する専門学科を設置する都立総合芸術高等学校（新宿区）と連携し、生徒がチャレンジした新たなプロジェクションマッピング作品「君に届くまで」の上映を開始しました。

作品の公開によせて





■ 生徒から一言

・都庁という大きな建築物に合わせた映像作りは難易度が高く試行錯誤の連続でしたが、仲間と一丸となって最後までこだわり抜いて制作しました。これからも人の心を動かす映像制作に励んでいきます。
・プロのクリエイターの方から様々な助言をいただき、みんなで議論しながら制作を進めてきた映像が都庁舎の壁いっぱいに映し出されたときの感動は、今でも忘れられません。総合芸術高校の仲間たちと一緒にすばらしい作品を作ることができ、とても嬉しく思います。
・自身の力量に不安を感じていましたが、たくさんの方の協力と意見を活かしてチームで取り組むことができ、挑戦することの大切さを学びました。
・自分のビジョンがうまく伝わらないなど問題にぶつかることも多々ありましたが、仲間と取り組むことで私たちの描く最大限の高校生らしさを込めた映像に仕上げることができたと思います。
・課題が示される普段の制作とは違い、ゼロから案を出し合って企画を練り、複数人で協力して一つの作品を作り上げる貴重な経験となりました。
・制作を通じて将来自分のやりたいことへの視野が大きく広がる貴重な機会となりました。
・手描きのアニメーションを使うことで見た人の印象に残る作品を完成させることができました。
・都庁舎という公共の場所に自分たちの作品を上映するのは初めての経験で、緊張しました。

■ 学校からのコメント

このお話をいただいた際、学校として生徒が大きな挑戦に取り組めることに喜びを感じる一方で、どのような表現を生み出せるのかという不安がありました。しかし、芸術を専門に学ぶ高校生として、ピュアな感性と持てる限りの表現力を発揮し、自分たちらしい素直な作品を制作することができたと思います。都庁の壁面という、これまで生徒が表現の場として経験したことのない大きな舞台で作品が披露されること、そして新宿の街を行き交う多くの方々に鑑賞していただけることに、感慨深い思いでいっぱいです。多くの皆様にご覧いただけることを楽しみにしています。

作品概要

■タイトル　君に届くまで

■上映開始日　10月9日（金）

■見どころ

　高校時代の恋心や放課後の情景など、“青春”をテーマにプロジェクションマッピングで表現しています。

　本作品では、都庁舎全面が教室の窓・廊下・下駄箱などへ変化し、巨大な“青春の舞台”となります。

　生徒がそれぞれの得意な分野で共同制作したことで生まれた、手描きアニメーションと３Dアニメーションが重なり合う演出等の技巧により、高校時代の心情や日常の情景を表現しています。都立高校生が取り組んだ、プロジェクションマッピングで描く“青春”をテーマとした映像作品です。

＜制作メンバー＞（敬称略）
映像制作：都立総合芸術高等学校 映像放送制作部
　　阿保唯花、井上美麗奈、大津美由、菊田朋希、関根里桜、水谷華、氏家杏、尾﨑玄羽、
　　佐久眞千寧、田中歩沙、木村夏央
音楽制作：鈴木順二朗（特別専門講師）
顧　　問：小島真由子、尾関裕隆

■上映時間（10月）

平日： 18時00分～ ／ 19時00分～
休日： 18時00分～
（11月以降の上映時間は公式サイトでご確認ください。）
※プロジェクションマッピングは上記の時間以外にも別の作品を上映しています。

（作品カット）





映像制作について

都立総合芸術高等学校の生徒が、プロジェクションマッピングの制作経験豊富なクリエイターによる指導・サポートを受けながら、映像制作に取り組みました。

■トップクリエイターによる特別講義とワークショップ（令和８年２月）

作品の制作に先立ち、今年２月、都庁舎プロジェクションマッピング作品を手がけてきたクリエイターを講師陣に迎え、都立総合芸術高等学校で特別講義とワークショップを開催しました。

映像表現の歴史や都市とアートの関係性、都庁舎に投影する作品づくりのノウハウなどを実例を交えて講義し、生徒からの質問にも丁寧にアドバイス。この特別講義を通じてプロジェクションマッピングを使った映像表現に興味を持った生徒たちが集まり、今回の作品制作に挑戦しました。



■映像のテスト上映とアドバイスの実施（令和８年７月）

制作の過程では、実際に都庁舎へ作品を投影する試写（テスト上映）を実施しました。生徒たちは、自らの作品が巨大な壁面に映し出される様子を確かめ、ＰＣ上の制作環境とは違う見え方になる映像に驚きの声が上がりました。

初めての試写の後、映像のブラッシュアップに向けて、講師陣によるオンラインアドバイスを実施。生徒からは、映像制作で悩んでいるポイントや、ブラッシュアップの方向性など多くの質問があり、講師陣が現地での所感を踏まえたアドバイスを行いました。また、講師陣の都庁舎でのプロジェクションマッピング制作経験を基に、実際の投影環境における映像の見え方や印象的な見せ場のつくり方、作品の完成度を高めるためのポイントなど、クリエイターとして意識すべき視点についても解説がありました。







■ブラッシュアップした映像の確認（令和８年８月）

７月の試写と講師陣からのアドバイスを意識し、夏休み期間を活用して生徒たちは作品のブラッシュアップに取り組みました。２回目の試写では、再度複数のパターンを用意して見え方を確認し、現地ならではの気付きを踏まえて、活発に意見を交わしました。

今回は試写の終了後に現地で講師陣からフィードバックをもらい、10月の上映に向けてブラッシュアップの方向性と、こだわりたいポイントの確認などを行いました。

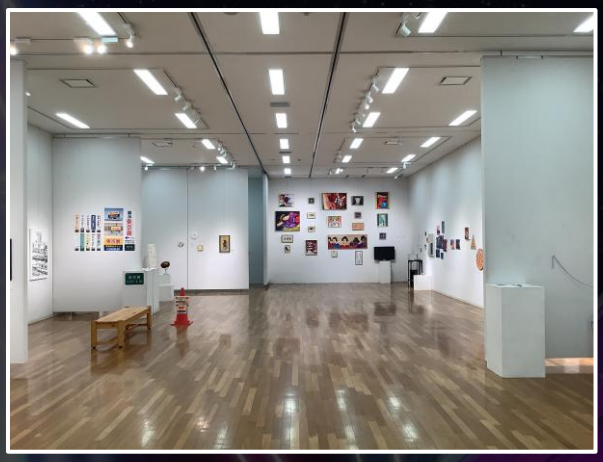


【講師陣】山本 信一氏（オムニバス・ジャパン）、岡翔三郎氏（alumni）、河上裕紀氏（alumni）
都庁舎プロジェクションマッピング『BLUE LOCK -TOKYO EGOIST-』『ポケモンカードゲーム TOKYO LUMINOUS NIGHT』などの制作を担当

都立総合芸術高等学校について

都立総合芸術高等学校は、都立高校で唯一の芸術科専門高校として、美術科・舞台表現科・音楽科の３学科が設置されています。各分野の専門性を持つ教職員と170名以上の講師陣による充実した指導のもと、少人数授業や実技・制作を通して、豊かな創造力と高度な表現力を育んでいます。専門施設も充実し、コンクールや公演、展覧会など多彩な発表の場を通じて、国内外の芸術文化を担う人材の育成を目指しています。





東京都庁舎プロジェクションマッピング「TOKYO Night & Light」の概要

■開催日　荒天時等を除き、毎日上映
※台風等により上映を中止する場合は公式サイトやXでお知らせします。

■投影面　東京都庁第一本庁舎　東側壁面

■観覧場所　都民広場（東京都新宿区西新宿２－８－１）

■上映回　18時00分～／18時30分～／19時00分～／19時30分～／20時00分～／20時30分～／21時00分～／21時30分～
（各回約15分。詳細なスケジュールは公式サイトをご覧ください）

■公式サイト　https://tokyoprojectionmappingproject.jp

■主　催　東京都、東京プロジェクションマッピング実行委員会

■その他
・本事業では環境に配慮した取組を進めています。
（グリーン電力の使用）
・本取組は「最大の建築物へのプロジェクションマッピングの展示（常設）」としてギネス世界記録™に認定されています。



©TOHO CO.,LTD.

公式サイト　公式X

TOKYO Night & Lightは、世界最大級の旅行情報プラットフォーム「トリップアドバイザー」において、掲載リスト約800万件の中から、旅行者の口コミ評価に基づき上位10%相当のランクとされる「トラベラーズチョイス アワード 2026」を受賞しました。
これにより、TOKYO Night & Lightは東京を代表する観光スポットの一つとして認知されています。